



家庭用燃料電池システム



P 5

財務編 は裏面表紙からご覧ください。

株主・投資家の皆さまへ



東京ガス通信
2005
春夏号

Letter

特集編

ピッツとコンロで
グリル料理に挑戦



P 8



エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

株主・投資家の皆さまへ

東京ガス株式会社
代表取締役社長
いちののりお
市野 紀生

フロンティア・ロード

「フロンティア2007」の早期達成により
新たな企業価値の創造を目指します。



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ご案内のとおり、エネルギー業界における規制緩和の進展により、大口分野では自由な市場参入が可能となり、お客さまが自らの意欲で、ガスや電気の供給者を選択できるようになってきています。さらに、現在はまだ規制の下にある家庭用の分野でも、従来の石油・LPGなどの他燃料との競合に加え、電力会社によるオール電化攻勢が激しさを増してきており、まさに垣根を越えた「エネルギー大競争時代」に突入しています。

当社では、このような「エネルギー大競争時代」を勝ち抜くべく、本年一月に料金引き下げを実施するとともに、家庭用においては、利便性が高く、高効率で環境性に優れた「ピットコン

ロex(e)「エグゼ」や、ガスならではのミストサウナ機能を付加した浴室暖房乾燥機「ミストサウナ&ホットドライ MISTY(ミスティ)」などを開発・販売し、新しい料金メニューも活用しつつ、需要の拡大を図っています。また、この二月には、世界に先駆けて家庭用燃料電池の実用機「ライフエル」を市場投入いたしました。加えて、ガスエンジンによる「コージェネレーションシステム「エコウイル」も、熱需要が大きいお客さまを中心に本年度下半期から販売をしております。商業用、工業用などの大口分野においては、当社の強みであるエンジニアリング技術・営業力を武器に、お客さまのニーズに的確に対応することによって、需要の獲得に努めています。

二〇〇四年度は、料金引き下げの実施や記録的な猛暑による夏場の家庭用ガス販売の落ち込み、原油価格高騰に伴う原材料費の上昇、といっ

た減収・減益要因はあったものの、関係会社などを含めたオール東京ガスが一丸となって拡販に努め、同時にさらなるコストダウンも推進した結果、売上高および当期純利益において過去最高の実績を上げることができました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜と感謝いたします。

こうした背景には、グループ中期経営計画「フロンティア2007」の諸施策が着実に実行されたことがあります。二〇〇四年度は、この「フロンティア2007」の二年目にあたりますが、以下、同年度中に実施した具体的な施策のうち、最近の取り組みについて簡単に報告させていただきます。

まず、天然ガスのバリューチェーン構築に關しましては、自社所有のLNG船である「エネルギーフロンティア号」に続き、本年三月末に当社グループが九十パーセントを所有する「エネルギーアドバンス号」



東京ガスグループの90%所有LNGタンカー「エネルギーアドバンス号」

「エネルギーアドバンス号」が就航し、当社の原材料費の低減に寄与するのみならず、国内の他ガス会社など、第三者向け輸送にも活用し、LNG輸送ビジネスを展開して

まいります。

また、エネルギー関連領域への事業拡大の一環である海外事業展開としましては、メキシコのパヒオ発電所への出資に加え、ブラジルにおける天然ガスパイプライン建設・運営事業である「マーリャプロジェクト」に参画いたしました。

こうした取り組みの結果、「フロンティア2007」の二年目にあたる二〇〇五年度において、主要な経営指標が最終年度（二〇〇七年度）の目標水準にほぼ達すると見込んでおります。そしてこれを受けて、二〇〇六年の年明けを目前に、将来にわたって持続的成長を実現することを目指した、新しい中期経営計画を策定し、さらなる企業価値の向上のための戦略を明確にしております。

株主の皆さまの、変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願いするとともに、東京ガスグループの今後にご期待いただきたいと思います。



ブラジルにおける天然ガスパイプライン建設・運営事業「マーリャプロジェクト」

北関東最大級の 複合商業施設 「ベルモール」へ エネルギー供給

(04年10月)



当社グループの(株)エネルギーアドバンスは、栃木県宇都宮市の大規模商業施設「ベルモール」のウエストサイド棟で、民生用では初めてとなるエネルギーサービス(ES)事業を開始しました。

今回のES事業は、高効率ガスエンジンなどの熱源設備を導入し、建物で使用する熱と電力の供給を一括して行うという同社の提案が採用されたもので、施設内のエネルギーコストダウンと同時に環境保全にも貢献しています。

新潟県中越地震 で復旧応援隊を 派遣

(04年10月)



昨年十月二十三日に発生した新潟県中越地震ではガス供給設備も大きな被害を受け、約五万六千件が供給停止となりました。当社をはじめとするオール東京ガス各社は、日本ガス協会の依頼により復旧応援要員を派遣し、最大時には約七百五十名の体制で導管修繕やガスの開栓など復旧作業に取り組みました。多くの悪条件のなか十一月三十日に復旧作業をほぼ完了することができ、十二月一日撤収しました。

「2005都市と 住まい展 Special」 開催

(05年2月)



当社では東京ビッグサイトで二月七日から十二日の六日間、「2005都市と住まい展Special」を開催しました。住宅建築業界などのサブユーザーや一般のお客さまを対象に「ガスだからできる良質で本格的な暮らし方」を提案する「暮らし実感ゾーン」と当社の商品サービスを新築、リフォーム別に提案する「分野別提案ゾーン」に分けて、展示を行い、来場者は八万人を超え、連日大盛況でした。

「リビングデザイン センターOZONE E(オゾン)」来場 者一千万人達成

(05年4月)



当社グループの(株)リビングデザインセンターが運営する「リビングデザインセンターOZONE」の来場者が一千万人に達しました。

OZONEは、住まいの総合情報センターとして一九九四年のオープン以来、住宅購入・リフォームを考えるユーザーをはじめ、建築家、デザイナーなど多方面から注目を集めてきました。今後も生活者本位の快適居住空間づくり、一層の住文化への貢献を目指します。

<http://www.ozone.co.jp/>

イベント情報

「東京ガスーRサロン」 「ボウィースーR」 「エコ・クッキング」 体験を開催

～女性のための～

当社では一月、ーR活動（株主・投資家向け広報活動）の一環として、エコ・クッキング体験付き個人投資家向け企業説明会を開催しました。

エコ・クッキングとは当社の社会貢献活動のひとつで、買い物、料理、片付けという流れのなかで環境に配慮した食生活を提案しています。講座の継続の実施など地道な普及活動が評価され、二〇〇四年度は地球温暖化防止活動環境大臣表彰環境大臣賞を受賞しました。

今回の説明会は、株式投資に関心がある働く女性を対象に、エコ・クッキング体験（講義・実習・試食）を通じて環境に配慮したライフスタイルをご提案し、同時に当社の事業内容などの紹介により、東京ガスのファンづくりを目的

としています。

エコ・クッキング講義に続く実習では「五穀グラチネ」など四品に挑戦。オーブンを二段使って異なる料理を同時に調理するなど、省エネのテクニックが注目を集めました。試食時には、当社の事業内容や環境活動、株価や配当の推移など株式投資の参考になる説明を行いました。



施設見学会のご案内

往信・うら

- ・お名前
- ・ご年齢
- ・ご住所
- ・お電話番号
- ・ご希望日

(9月28日・29日・10月7日のうち、第2希望までをご記入ください。)
・同行ご希望者のお名前
(おひとりご参加の場合は不要です。)

※返信用はがきのおもてには、ご住所・お名前を明記ねがいます。

**応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
結果は、返信用はがきにてお知らせいたします。**

*応募に伴い預かりした株主さまの個人情報につきましては、見学会のご案内、ご連絡のために利用させていただき、それ以外の目的では利用いたしません。

往信・おもて

〒105-8527

東京都港区
海岸1-5-20
東京ガス株式会社

総務部総務グループ行

株主の皆さまを対象としました見学会を下記の通り開催いたします。
株主の皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

施設見学会の概要と応募要領

□見学会の日程と施設

- ・9月28日(水)・29日(木) 当社根岸工場(横浜市)
13:00~17:30 集合場所 東京ガス本社ビル
- ・10月7日(金)
13:00~17:30 当社新宿ショールーム・新宿地域冷暖房センター
集合場所 新宿ショールーム(新宿区)

※ご自宅から集合場所までの往復交通費はご本人のご負担とさせていただきます。

□募集人数

根岸工場 両日とも 40組 80名様(1組2名様まで)
新宿ショールーム 30組 60名様(1組2名様まで)

□応募方法

左記のとおり、官製往復はがきに必要事項をご記入のうえご郵送ください。締切は、8月31日(当日消印有効)です。

世界に先駆けて市場投入開始！

家庭用燃料電池システム

各家庭に供給されている都市ガスから水素を取り出して、化学反応で発電。同時に排熱でつくったお湯も利用できる。

省エネ性が高く、CO₂排出量も削減できる家庭用燃料電池システムがいよいよ実用化されました。
http://www.tokyo-gas.co.jp/pefc/dev-fc_34.html

当社は、荏原バROAD(株)、松下電器産業(株)と共同開発を行ってきた家庭用燃料電池「コージエネレーションシステム「ライフエル」について、世界に先駆けて二〇〇五年二月八日より限定的に市場投入を開始しました。

今年度末までに二百台を当社供給エリア内でメンテナンス体制の整った地域に投入します。お客さまとは*FCパートナーシップ

契約を締結し、運転データなどを収集、年間数千〜数万台の販売を目標す普及期(二〇〇八年度以降



と想定)に向けてシステムの性能を更に高めていきます。

燃料電池の開発・普及は、地球温暖化が削減のための重要な国家的プロジェクトとして位置づけられており、各方面から注目されています。今回の商用第三号機は、四月八日、このたび完成した首相新公邸に導入されました。また、積水ハウス株式会社様では「ライフエル」を設置した戸建住宅の分譲を開始しています。



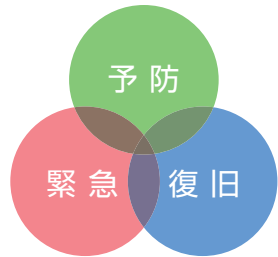
首相新官邸への商用第1号機導入式典

※FCパートナーシップ契約：

東京ガス所有の家庭用燃料電池の利用に関する契約。基本契約10年、契約料100万円

東京ガスの地震・防災対策

都市ガスを三百六十五日安心してお使いいただくため、当社は、「予防」「緊急」「復旧」の三本柱で地震・防災対策に取り組んでいます。



予防

地震に強いガス設備

ガス製造・供給設備は材質・設計方法に万全を期し、耐震性を確保しています。製造設備、ガスホルダー、高圧導管は阪神・淡路大震災の際にも被害がないことが確認されました。

緊急

ガス漏れによる二次災害の防止

各家庭にはマイコンメーターが設置されており、震度五程度の地震の際には、ガスを自動で停止します。また首都圏を中心としたガス導管網を百一のプロック

復旧

安全かつスピーディな供給再開

に分け、緊急時には被害が出た地域だけの供給を停止します。供給停止の方法は、導管網に設置されたセンサーによる自動遮断と、SUPREME(超高密度リアルタイム地震防災システム)による遠隔遮断があり、確実・迅速な対応が可能です。

ガス供給の再開は安全かつ迅速に行います。復旧作業に必要な要員、資機材、行動基準などを常に整備し、効率的な作業計画を作成するコンピュータシステムも備えています。

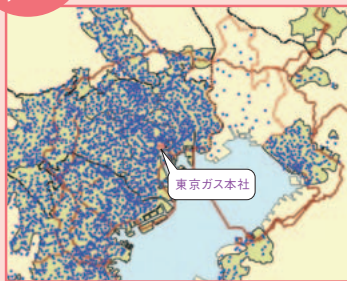
ポリエチレン管



お客さま宅にガスを送る低圧導管には地盤の影響を吸収し、地震による損傷を最小限に食い止めるポリエチレン管を使用しています。

遠隔監視地点
3,800

シュープリーム SUPREME



(青い点はSIセンサー)

遠隔遮断・監視装置、高性能地震計を3,800カ所に設置。迅速な遠隔遮断を実現した世界初の防災システムです。

CSR (企業の社会的責任) への取り組み

東京ガスを取り巻く方々・社会



一層のCSR活動の充実を図り、 推進体制を強化

近年、社会的に*CSR（企業の社会的責任）に対する認識が高まっています。

当社は都市ガスの供給という事業を通じ、常に、このテーマと誠実に向き合ってきました。すでに環境、コンプライアンス、社会貢献、CS、IRについては専門組織を設置して積極的取り組みを進めていますが、今後は従来以上に全社的な推進が不可欠との認識

のもと「CSR推進会議」「CSR室」を設置し、CSR推進体制を強化しました。

CSR推進会議では「オール東京ガス」のCSR活動推進を図り、重要事項を審議します。CSR室ではCSR推進会議事務局・対外窓口・CSR報告書作成といった諸機能を果たすとともに社内へのCSRの浸透、各部門における活動サポートを行います

これら体制強化により、グループとして社会的責任を果たす取り組みを一層充実させ、お客さま、株主の皆さまをはじめ、地域社会との信頼関係を第一に、『快適な暮らしづくり』と『環境に優しい都市づくり』に貢献し、企業価値の増大を目指します。

「東京ガスCSR報告書2005」は、下記宛郵送かファックスでお申し込みください。なお、当社ホームページ上でも公開しております。



〒105-8527
東京都港区海岸1-5-20
東京ガス株式会社
CSR室
Fax: 03-3437-9130



URL: http://www.tokyo-gas.co.jp/csr/index_j.html

* CSR (企業の社会的責任):
Corporate Social Responsibility



揚げ物の再加熱もグリルがいちばん！

楽子!

グリルクッキング

簡単にできるおしゃれな手作りデザート
フルーツグラタン～ヨーグルトソース



● 材料（4人分）
バナナ2本 オレンジ2個 A（コアントロー小さじ1、
オレンジの絞り汁大さじ2）グラニュー糖大さじ1 ヨー
グルトソース（プレーンヨーグルト1/3カップ、バニラ
アイスクリーム1/2カップ）

● 作り方

- ①バナナは皮をむき斜め切り、オレンジは皮と薄皮を取
り、一部絞ってジュースに
- ②耐熱容器にフルーツを並べAと砂糖をふりグリルで焼
く（両面焼き：強火約5分、片面焼き：弱火約8分）
- ③器に取り分けソースをかける。

Web [http://home.tokyo-gas.co.jp/
shoku110/grill/grill_recipe.html](http://home.tokyo-gas.co.jp/shoku110/grill/grill_recipe.html)

グリルの特長は「パワフルな火力」
グリルは食材を強い直火で、スピーディに調理します。電子レンジとは違い、外側からの熱で短時間で焼き上げるので素材のうまみを逃がさず、柔らかく仕上がります。また、フライパンのように油をひく必要がなく、肉自体が持っている脂も焼いているうちに落ちるので、とってもヘルシー。油ハネなどの飛び散りも庫内だけで済み、キッチンのお掃除やお手入れも簡単です。



冷凍食品がスピーディに
おいしく温められる



グリルならトーストも
あっという間

あっと驚く裏技いろいろ
揚げ物の温め直しもグリルだと表面は力
ラリ、中はしっかり温かく作りたての風味
に。冷凍グラタン・ピザの解凍もグラタン
の焦げ目はこんがり、ピザ生地はカリッと
仕上がります。

ガスコンロについている「グリル」は
魚を焼くためだけのもの？
グリルをもっと活用して、毎日の調理を
らくちんに楽しめる情報をご紹介します。

ピピッとコンロ
Bonheur (ボヌール)



RN-PC863-XIHR
希望小売価格 ¥115,500
（本体価格 ¥110,000）工事費別

設定時間になるとブザーが鳴って自動
消火する「グリル調理タイマー」付き。
オーブトースター感覚でお使いいた
だけます。

Letter

東京ガス通信
2005
春夏号

財務編

株主・投資家の皆さまへ

2005年3月期決算のご報告

- 業績ハイライト……………P1-2
- 財務諸表……………P3-4
- 主な指標……………P5
- 会社情報・株式情報………P6

特集編 は裏面表紙からご覧ください。

2005年3月期 業績ハイライト (連結)

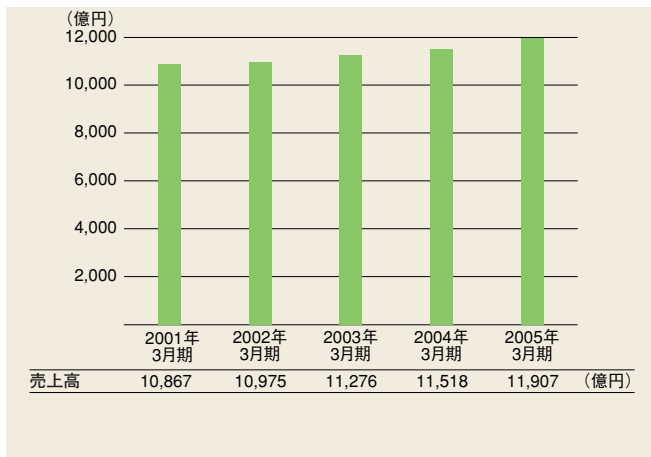
東京ガスグループの2005年3月期連結決算は、新規連結34社を加え、連結子会社52社と持分法適用関連会社1社となっております。連結売上高は、ガス売上高が販売量増およびガス料金引き下げの影響などにより、**0.4%増加**したほか、新規連結34社の売上高増(431億円)などにより、全体では**3.4%増加し、1兆1,907億円(過去最高)**となりました。

費用は、原油価格の高騰およびガス販売量増などに伴い原材料費が増加するとともに、新規連結会社の費用増もありましたが、経営効率化の一層の推進を図り、費用の抑制に努め

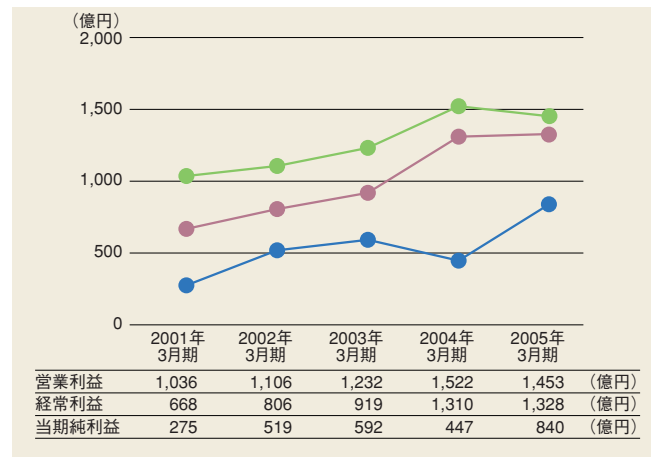
本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通しおよび計画に基づいた予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる可能性があります。

ました結果、営業利益は**4.6%減の1,453億円**、経常利益は**1.3%増の1,328億円(過去最高)**となりました。当期純利益は、投資有価証券売却益ほか57億円を特別利益、特別退職金ほか52億円を特別損失にそれぞれ計上した結果、**87.7%増の840億円**となりました**(過去最高)**。これは、前期に企業年金制度変更に伴う退職給付数理計算上の差異一括償却額(589億円)ほかの特別損失を計上したことなどによるものです。この結果、連結決算におきましては、5年連続の増収増益を達成いたしました。

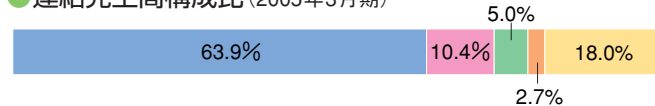
■ 売上高



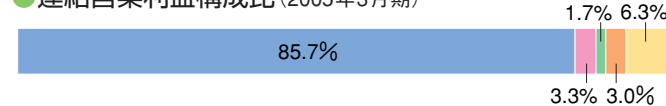
● 営業利益 ● 経常利益 ● 当期純利益



● 連結売上高構成比 (2005年3月期)



● 連結営業利益構成比 (2005年3月期)

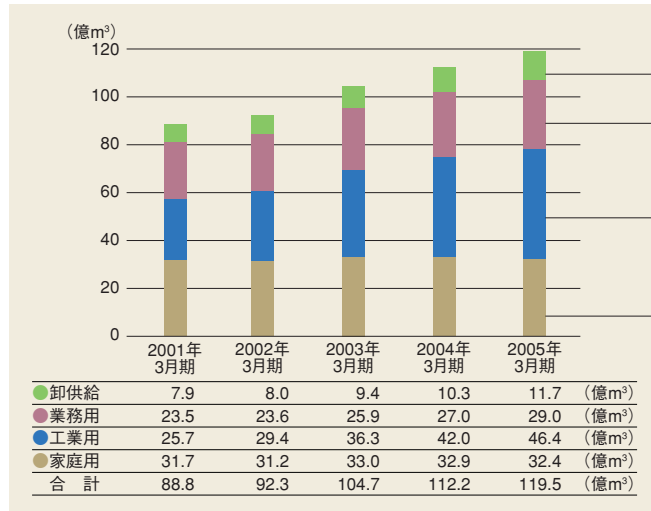


※売上高および営業利益の構成比率には、セグメント間の取引を含んでおります。

事業区分はガス事業会計規則に準拠した売上集計区分によっています。各事業区分に属する主要な製品は以下のとおりです。

■ ガス: ガス ■ ガス器具: ガス機器 ■ 受注工事: ガス工事 ■ 不動産賃貸: 建物の賃貸・管理など ■ その他の事業: 地域冷暖房、LPG販売など

ガス販売量実績



[04/3→05/3主な増減要因]

卸供給 (+13.7%)

- 卸供給先への販売量増加

業務用 (+7.7%)

- 夏場の高気温、冬場の低気温による空調需要の増加
- 新規需要開発および既存物件の稼働増

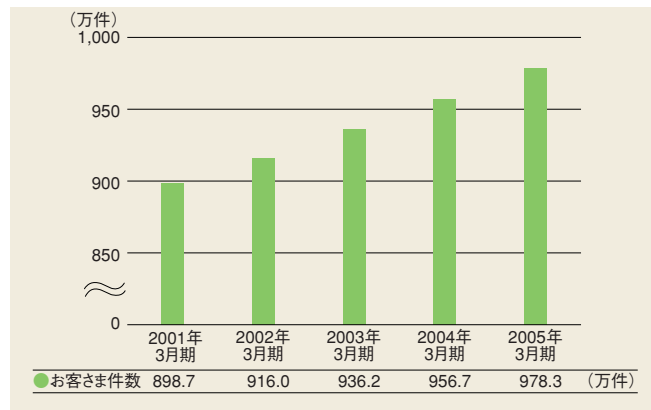
工業用 (+10.4%)

- 新規需要開発および既存物件の稼働増
- 発電用需要の拡大による増加など

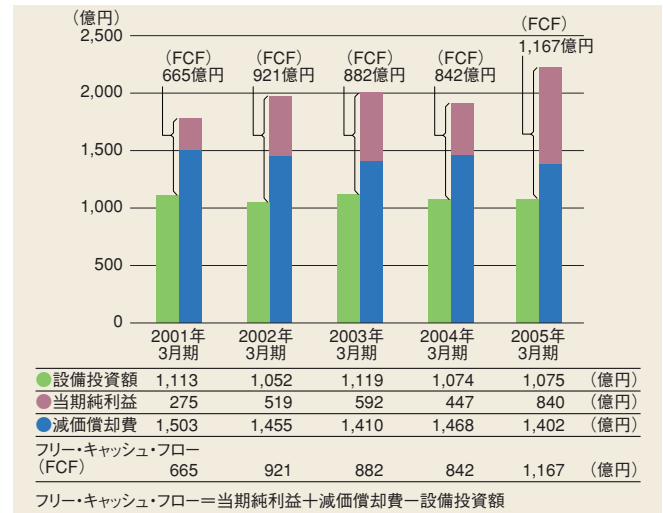
家庭用 (▲1.5%)

- 夏場の高気温の影響による給湯需要の減少
- 冬季の低気温による給湯・暖房需要の増加

お客さま件数



フリー・キャッシュ・フロー (FCF)



※財務編p1～6の各数値は四捨五入・切り捨て処理などの関係で、合計が合わない場合があります。

財務諸表 (連結・単体)

連結 損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

	2004.4~2005.3	2003.4~2004.3
1 売上高	1,190,783	1,151,824
売上原価	624,722	578,529
売上総利益	566,060	573,294
供給販売費	346,617	345,572
一般管理費	74,094	75,434
2 営業利益	145,349	152,287
営業外損益	▲ 12,493	▲ 21,193
3 経常利益	132,856	131,093
特別損益	466	▲ 57,962
税金等調整前当期純利益	133,322	73,131
法人税・住民税および事業税	45,073	44,266
法人税等調整額	3,534	▲ 16,366
少数株主損益	667	444
4 当期純利益	84,047	44,787

解説

ガス売上高が対前期比0.4%増加したほか、新規連結34社の売上高増(431億円)などにより、**1** 連結売上高は同3.4%増の1兆1,907億円となりました。

費用は、原油価格の高騰などに伴い原材料費が増加するとともに、新規連結会社の費用増もありましたが、諸給与・諸経費などの圧縮により、**2** 営業利益は4.6%減、**3** 経常利益は1.3%増となりました。

4 当期純利益は、投資有価証券売却益ほか57億円を特別利益、特別退職金ほか52億円を特別損失にそれぞれ計上した結果、同87.7%増の840億円となりました。

Web

財務諸表の詳細は当社ホームページをご覧ください。
URL: http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html

連結 貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

	2005.3	2004.3
(資産の部)		
固定資産	1,382,066	1,407,725
有形固定資産	1,159,517	1,170,428
無形固定資産	22,779	18,856
投資その他の資産	199,769	218,440
流動資産	286,667	259,102
資産合計	1,668,734	1,666,828

	2005.3	2004.3
(負債の部)		
固定負債	718,878	734,345
流動負債	292,458	329,770
負債合計	1,011,337	1,064,116
少数株主持分	8,630	4,258
(資本の部)		
資本金	141,844	141,844
剰余金その他	566,066	495,416
自己株式	▲ 59,145	▲ 38,808
資本合計	648,766	598,453
負債・少数株主持分および資本合計	1,668,734	1,666,828

連結 キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

	2004.4~2005.3	2003.4~2004.3
1 営業活動によるキャッシュ・フロー	215,037	217,608
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 107,375	▲ 126,038
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 108,160	▲ 99,744
現金および現金同等物に係る換算差額	▲ 2	5
現金および現金同等物の増減額	▲ 500	▲ 8,169
現金および現金同等物の期首残高	43,960	52,129
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	7,204	—
4 現金および現金同等物の期末残高	50,664	43,960

解説

当期は、1 営業活動で生じた2,150億円を、
2 固定資産や投資有価証券などに1,073億円投資し、
3 自己株式の取得や有利子負債の返済などに1,081
億円が支出されました。その結果、4 期末の現金お
よび現金同等物の残高は506億円となりました。

単体 損益計算書(要旨) (単位:百万円)

	2004.4~2005.3	2003.4~2004.3
営業収益	1,013,993	1,013,754
ガス売上	825,341	823,509
その他収益	188,651	190,244
営業費用	893,822	886,799
売上原価	328,910	310,108
販売費および一般管理費	385,706	397,887
その他費用	179,206	178,803
営業利益	120,167	126,954
営業外損益	▲ 2,975	▲ 11,095
経常利益	117,192	115,859
特別損益	4,826	▲ 54,299
法人税等	37,750	37,220
法人税等調整額	5,601	▲ 15,933
当期純利益	78,666	40,273
当期末処分利益	112,953	73,694

単体 貸借対照表(要旨)

	2005.3	2004.3
(資産の部)		
固定資産	1,150,993	1,193,530
有形固定資産	833,782	869,849
無形固定資産	15,160	14,645
投資その他の資産	302,051	309,035
流動資産	231,272	216,492
資産合計	1,382,265	1,410,023

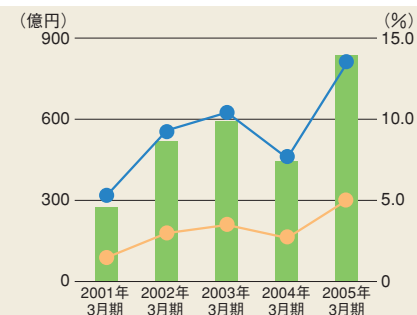
(単位:百万円)

	2005.3	2004.3
(負債の部)		
固定負債	577,104	599,866
流動負債	231,102	269,938
負債合計	808,206	869,805
(資本の部)		
資本金	141,844	141,844
剰余金その他	491,358	437,180
自己株式	▲ 59,145	▲ 38,808
資本合計	574,059	540,217
負債・資本合計	1,382,265	1,410,023

主な指標

経営指標 (連結)

■ 当期純利益 ● ROA ● ROE

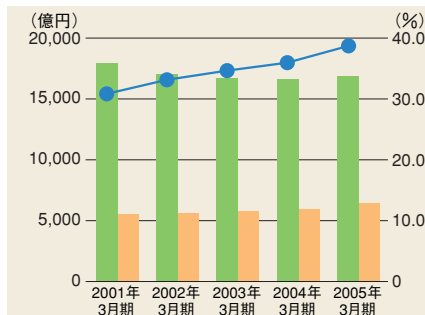


当期純利益	275	519	592	447	840 (億円)
ROA	1.5	3.0	3.5	2.7	5.0 (%)
ROE	5.3	9.3	10.4	7.6	13.5 (%)

ROA=当期純利益÷期首・期末平均総資産×100

ROE=当期純利益÷期首・期末平均株主資本×100

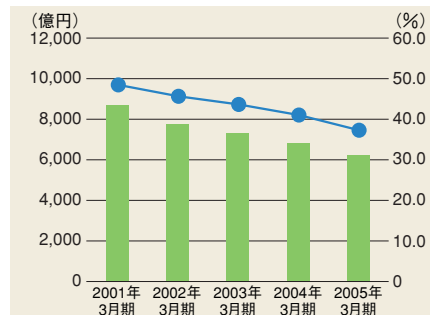
■ 総資産 ■ 株主資本 ● 株主資本比率



総資産	17,976	17,027	16,760	16,668	16,687 (億円)
株主資本	5,527	5,640	5,797	5,984	6,487 (億円)
株主資本比率	30.8	33.1	34.6	35.9	38.9 (%)

株主資本比率=株主資本÷総資産×100

■ 有利子負債残高 ● 有利子負債依存度



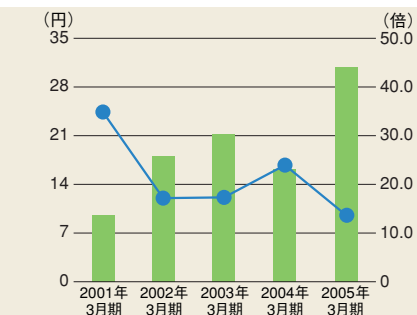
有利子負債残高	8,703	7,758	7,313	6,827	6,241 (億円)
有利子負債依存度	48.4	45.6	43.6	41.0	37.4 (%)

有利子負債依存度=有利子負債残高÷期末総資産×100

株式関連指標 (連結)

■ 1株当たり当期純利益 (EPS)

● 株価収益率 (PER)

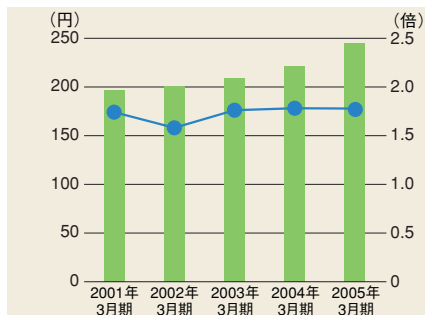


1株当たり当期純利益	9.82	18.47	21.18	16.44	31.47 (円)
株価収益率	34.83	17.22	17.37	23.97	13.73 (倍)

1株当たり当期純利益(EPS)=当期純利益÷期中平均株式数
株価収益率(PER)=期末株価÷EPS

■ 1株当たり株主資本 (BPS)

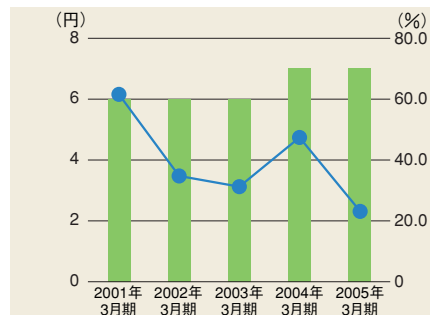
● 株価純資産倍率 (PBR)



1株当たり株主資本	196.72	200.75	208.65	221.53	244.73 (円)
株価純資産倍率	1.74	1.58	1.76	1.78	1.77 (倍)

1株当たり株主資本(BPS)=株主資本÷期末株式数
株価純資産倍率(PBR)=期末株価÷BPS

■ 1株当たり配当金 (単体) ● 配当性向 (単体)



1株当たり配当金	6.00	6.00	6.00	7.00	7.00 (円)
配当性向	61.5	34.8	31.3	47.4	23.8 (%)

配当性向=1株当たり年間配当金÷1株当たり当期純利益×100

会社情報 (2005年3月31日現在)

会社名: 東京ガス株式会社 設立: 1885 (明治18)年10月1日
 本社所在地: 〒105-8527 東京都港区海岸一丁目5番20号
 従業員数: 8,447名(注)従業員数は常勤の就業人員数を記載しており、出向者および臨時従業員を含みません。
 格付け: AA+ (R&I: 格付投資情報センター)、Aa1 (ムーディーズ)
 連結子会社: 52社 持分法適用関連会社: 1社

取締役および監査役 (2005年6月29日現在)

代表取締役会長	安西邦夫
代表取締役副会長	上原英治
代表取締役社長(兼 社長執行役員)	市野紀生
代表取締役(兼 副社長執行役員)	鳥原光憲
代表取締役(兼 副社長執行役員)	草野成郎
代表取締役(兼 副社長執行役員)	小前林剛也
取締役(兼 常務執行役員)	前田忠昭
取締役(兼 常務執行役員)	國富隆毅
取締役(兼 常務執行役員)	岡本三友
取締役(社外)	今野由梨
取締役(社外)	山本一元
常勤監査役	平井浩徳
常勤監査役	徳本恒義
監査役(社外)	花房正利
監査役(社外)	清水利光

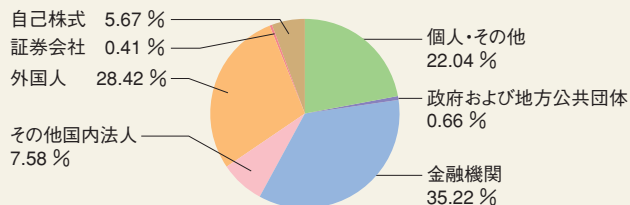
執行役員 (取締役兼務者を除く) (2005年6月29日現在)

副社長執行役員	石黒正大	執行役員	蟹沢俊行
常務執行役員	手塚俊夫	執行役員	森邦弘
常務執行役員	杉山昌樹	執行役員	蛭間泰弘
常務執行役員	村木茂	執行役員	大谷勉
常務執行役員	中西誠一	執行役員	板沢幹雄
執行役員	今沢時雄	執行役員	広瀬道明
執行役員	星野則和	執行役員	吉野和雄
執行役員	鍋木正	執行役員	渡辺尚生

株式の状況

資本金	141,844,398,888 円
発行済株式総数	2,810,171,295 株
株主数	181,473 人

所有者別株式分布状況



株式情報

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 利益配当金 毎年3月31日・中間配当金 毎年9月30日
 配当金受領株主確定日 東京都港区芝三丁目33番1号中央三井信託銀行株式会社
 名義書換代理人 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

株式に関するお問い合わせ先

- 住所変更、配当金の受け取り、名義書換などの株式に関する手続きは中央三井信託銀行でお取扱しております。お問い合わせは上記連絡先をお願いいたします。
- 各種手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

☎0120-87-2031

[URL] http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

- 決算公告については、貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。

[URL] http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html

- 東京ガス通信に関するお問い合わせ
 総合企画部IR室 ☎03-5400-3888
- その他のお問い合わせ
 総務部総務グループ ☎03-5400-3894
- ホームページアドレス

[URL] <http://www.tokyo-gas.co.jp/>

株価および出来高の推移 (東京証券取引所)

